

上小阿仁村小中学校の耐震化の状況（平成18年度で耐震化済み）

学校名	建物区分	建築年月	構造	階数	面積 (㎡)	区分	耐震診断			改修	改修後	
							年度	Is値	q値	年度	Is値	q値
上小阿仁小学校	校舎	平成2年1月	RC	2	1,701	新基準	—	—	—	—	—	—
上小阿仁中学校	校舎	平成2年1月	RC	2	1,460	新基準	—	—	—	—	—	—
	体育館	昭和39年10月	S	2	958	旧基準	16	0.14	0.42	18	0.71	1.24
	体育館渡廊下	平成2年1月	RC	1	29	新基準	—	—	—	—	—	—
	柔道場	平成2年1月	RC	1	243	新基準	—	—	—	—	—	—

（用語の解説）

- 1 「構造」欄に「RC」とあるのは鉄筋コンクリート造を、「S」とあるのは鉄骨造をいいます。
- 2 「区分」欄に「旧基準」とあるのは新耐震基準施行(昭和56年)以前に建築されたものを、「新基準」とあるのは新耐震基準施行後に建築されたものをいいます。
- 3 「新基準」の表示があるものは、耐震性がありますので、「区分」欄から右の各欄は、すべて「—」となっています。
- 4 「旧基準」の表示があるものは、耐震診断及び改修の「年度」及び「Is値」・「q値」をそれぞれの欄に掲げております。
- 5 「Is」（構造耐震指標）は、建築物の耐震性能(地震に対する安全性)を数値化したもので、その値が大きいほど耐震性能が高いことを表します。国土交通省告示等によれば、耐震診断等により算定したIs値が0.6以上の場合は、耐震性がある建物ということになります。
- 6 「q」（保有水平耐力に係る指標）は、地震による水平方向の力に対して建物に対応する強さを表すもので、その値が大きいほどよく、1.0以上が目標値とされています。